

ご 挨拶

産業経営研究所長 小林 俊 治
早稲田大学商学部教授

本日は、お忙しいところ「産研アカデミック・フォーラム」にご出席下さいまして、有り難うございます。

最初に、当「産研アカデミック・フォーラム」を主催いたします産業経営研究所についてご紹介させていただきます。

産業経営研究所は、早稲田大学の附置研究所として、1974年に設置されました。主に商学部の教授陣を中心に産業経営に関する研究をしております。現在19のプロジェクトがあり、それぞれグローバルな視点から有意義な研究をしております。研究成果は機関誌『産業経営』および『産研シリーズ』などに発表され、各専門分野で高い評価を受けております。なお、当研究所の比較的詳しい紹介は、お配りしましたプログラムにありますのでそちらをご覧ください。

いま申し上げました通り、当研究所は1974年以来23年間にわたって社会的にも高い評価を得る研究活動をしてまいりました。

こうした当研究所の学問的伝統を受け継ぎ、さらに一段と飛躍するために、当「産研アカデミック・フォーラム」を企画しました。とくに、若手研究者に最先端の研究成果を発表していただき、ご出席の皆様方と議論し、お互いの研究を発展させることに主眼がおかれています。

いうまでもなく、学問は大学だけのものではありません。シンクタンクや現実のビジネスの場でも知の創造は絶え間なく行われております。そうした方々との対話を通して、大学を開かれた場とするためにも、このフォーラムを開催いたしました。また、わざわざ「アカデミック」という形容詞をつけましたのは、当フォーラムがちまたに氾濫する、流行のみを追う軽薄な言説とは一線を画した本格的な研究、いい意味での「アカデミズム」を志向していることをはっきりとさせるためです。また、そこに大学の研究所の社会的意義があるのではないかと思います。

本日、このように開催できるようになりましたのも、ご多忙にもかかわらずご出席いただきました講師の先生方並びにご支援をいただきました大和銀行およびマーケティングデザイン研究所のご協力の賜物であります。厚くお礼申し上げます。

また、早稲田大学本部、商学部および商学研究科のバックアップに対しまして心よりお礼申し上げます。